

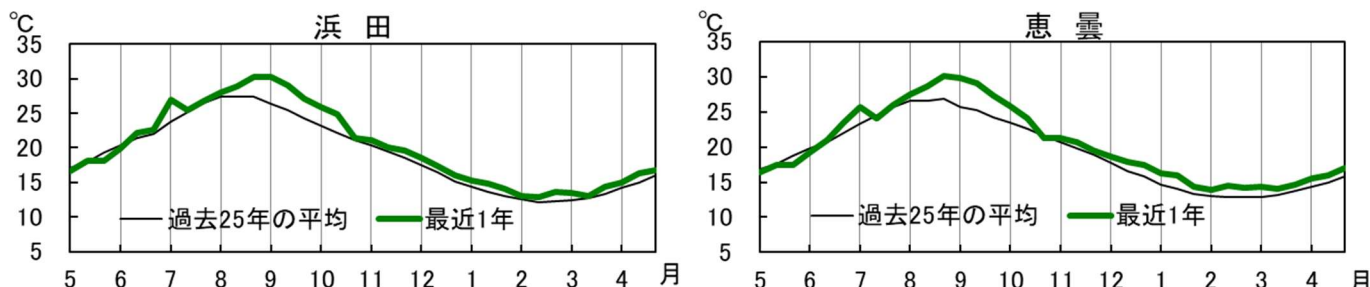


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《4月の海況》



4月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや高め	16.0°C	+1.0°C	かなり高め	16.2°C	+1.2°C
中旬	かなり高め			かなり高め		
下旬	やや高め			かなり高め		



《4月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類主体の漁況でした。隠岐地区ではマイワシ、サバ類主体の漁況で、1 統 1 航海当りの漁獲量は119 トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、マイワシは9,796 トンで平年の1.2 倍、前年の1.0 倍、サバ類は3,817 トンで平年の2.5 倍、前年の4.4 倍でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5 トン以上）ではスルメイカが主体で、1 隻 1 航海当りの漁獲量は212kg で平年並みでした。西郷地区（属人5 トン以上）ではスルメイカの水揚げで、1 隻 1 航海当りの漁獲量は55kg で平年並みでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、ケンサキイカ、マダイを主体に、1 統 1 航海当りの漁獲量は10.6 トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、キダイは平年の1.4 倍、ケンサキイカは平年の1.3 倍、マダイは平年の3.5 倍でした。その他、マアジは平年の1.8 倍と好調でしたが、マトウダイおよびエソ類は平年の8 割、カワハギ類は平年の7 割、アンコウ類は平年の6 割、アカムツは平年の5 割、アナゴ・ハモ類は平年の4 割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではニギス、ソウハチ、アンコウ類主体の漁況で、総漁獲量は210 トンでした。1 統 1 航海当りの漁獲量は726kg で平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ニギスは平年の2.7 倍、ソウハチは平年の9 割、アンコウ類は平年の1.0 倍でした。その他、マダイは平年の1.4 倍、アカムツおよびヒラメは平年の1.2 倍、ムシガレイは平年の1.1 倍、ヤナギムシガレイは平年の9 割、アナゴ・ハモ類およびキダイは平年の8 割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサバ類、ブリ、マアジ主体の漁況で、1 経営体当りの漁獲量は33.1 トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、サバ類は平年の7.2 倍、ブリは平年の1.2 倍、マアジは平年の1.5 倍でした。石見地区ではブリ、サバ類、マアジ主体の漁況で、1 経営体当りの漁獲量は38.3 トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、ブリは平年の3.6 倍、サバ類は平年の5.2 倍、マアジは平年の1.1 倍でした。隠岐地区ではブリ、マイワシ、マアジ主体の漁況で、1 経営体当りの漁獲量は40.4 トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ブリは平年の1.0 倍、マイワシは平年の1.6 倍、マアジは平年の4.5 倍でした。

【釣り・縄】

出雲地区ではブリ、ヒラマサ、アマダイ類主体の漁況で、1 隻 1 航海当りの漁獲量は26.3 kg で平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ブリは平年の6 割、ヒラマサは平年の1.3 倍、アマダイ類は平年の1.1 倍でした。石見地区では、アマダイ類、カサゴ・メバル類、ヒラマサ、イサキ主体の漁況で、1 隻 1 航海当りの漁獲量は17.0 kg で平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、アマダイ類は平年の7 割、カサゴ・メバル類は平年の8 割、ヒラマサは平年の4 割、イサキは平年の1.2 倍でした。隠岐地区ではブリ、カサゴ・メバル類、メダイ主体の漁況で、1 隻 1 航海当りの漁獲量は26.9 kg で平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、ブリは平年の7 割、カサゴ・メバル類は平年の5 割、メダイは平年の2.4 倍でした。

【令和8年4月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	—	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ、サバ類	13,846トン	133%	140%	119トン	129%	135%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	3.0トン	225%	21%	212kg	161%	89%
	西郷	スルメイカ	0.8トン	457%	59%	55 kg	163%	140%
沖合 底びき網	浜田	キダイ、ケンサキイカ、マダイ	180トン	84%	91%	10.6トン	79%	75%
小型 底びき網	大田	ニギス、ソウハチ、アンコウ類	210トン	143%	95%	726 kg	109%	104%
定置網 (大型)	出雲	サバ類、ブリ、マアジ	431トン	54%	83%	33.1トン	50%	81%
	石見	ブリ、サバ類、マアジ	153トン	111%	259%	38.3トン	111%	244%
	隠岐	ブリ、マイワシ、マアジ	121トン	131%	112%	40.4トン	131%	112%
釣り・縄	出雲	ブリ、ヒラマサ、アマダイ類	25.3トン	74%	82%	26.3kg	74%	90%
	石見	アマダイ類、カサゴ・メバル類、ヒラマサ、イサキ	13.5トン	70%	70%	17.0kg	65%	82%
	隠岐	ブリ、カサゴ・メバル類、メダイ	15.5トン	83%	78%	26.9kg	93%	113%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ